

令和6年度 学校評価報告書 (目標設定) 実施結果)

視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月7日実施)	総合評価 (3月28日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①普通科と総合ビジネス科の併置の特性をいかした教育活動を検討し、幅広い学びの実現を図る。</p> <p>②生徒の学ぶ意欲を引き出し確かな学力を育みながら、課題解決のために必要な思考力、判断力、表現力などを育む教育課程を作成する。</p>	<p>①普通科と総合ビジネス科の並置の特長を活かした教育課程の開発を図る。</p> <p>②評価と指導の一体化の推進と一人一台端末を活かした授業改善を推進する。</p>	<p>①探究活動を中心として、主体的・対話的で深い学びの実現するために、地域の教育資源の活用や学校間連携を推進する。</p> <p>②一人一台端末を活かし協働して課題を解決していく授業実践を研修会等で共有し、さらなる授業実践を積み重ねる。</p>	<p>①学校間連携や地域連携、企業団体との取組みの参加率、参加生徒の満足度はどうだったか。</p> <p>②ICT機器を活用した授業実践、評価と指導の一体化を推進する研修会を実施できたか、また授業改善に効果があったか。</p>					
2 生徒指導・支援	<p>①社会の一員として行動するための規範意識や自己指導能力を高めるとともに、社会貢献に対する意識を育む。</p> <p>①自己肯定感を醸成するとともに、活動を通して主体的・協働に行動できる人材を育成する。</p> <p>②生徒一人ひとりの状況に応じた相談体制を強化する。</p> <p>③安心安全な学校環境の整備を行う</p>	<p>①社会的、職業的に自立し、社会に貢献する生徒を育成する。</p> <p>①生徒主体の学校行事等の企画運営の推進や部活動の活性化による生徒の自己有用感の涵養を図る。</p> <p>②生徒一人ひとりに合った教育相談体制を構築する。</p> <p>③交通安全についての意識を高め、交通社会人の一員として責任をもって行動できる生徒を育成する。</p>	<p>①様々な活動において主体的に関われるよう支援する。また、他者との協働作業の中で人間関係の形成、社会性の向上を図る。</p> <p>①生徒会活動を中心に、両科の生徒が行事等を通して交流を深めながら協働的な学びを支援する。</p> <p>②支援が必要な生徒について早期に情報共有し、個々のニーズに合った教育相談体制を構築する。</p> <p>③交通安全教室等を実施し、登下校中の自転車等による交通マナーの向上と事故防止に努める。</p>	<p>①生徒が主体的・計画的に活動しているか。他者を受容する態度で協働的に行動できているか。</p> <p>①行事後のアンケートで肯定的な回答が80%を超えたか。</p> <p>②支援が必要な生徒について早期に情報共有したか。SC・SSW等の活用やケース会議、外部機関と連携し組織的に対応できたか。</p> <p>③交通安全指導を計画的に実施し自転車等による事故件数を減少させられたか。</p>					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月7日実施)	総合評価(3月28日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	①体系的なキャリア教育により、早期から将来を展望した自己理解、キャリア学習を深めさせる。 ②社会の一員として参画し貢献する意識を高める。	①キャリア教育を計画的に実施し、自己理解を深め進路意識の向上を図る。 ②チームとして探究活動を支援し、サポートすることで第一志望の達成を目指す。就職においても、自己の適性を理解した職種選択、企業選択をサポートし、希望者全員の早期内定を目指す。	①進路ガイダンスを適切な時期に実施する。事前事後のアンケート結果を精査する。 ②探究活動を通して、上級学校リサーチ、企業リサーチに取り組み、早い時期から受験方法について確認させていく。 ②授業や日常の面談等の中で、ビジネスマナーを踏まえた受け答えを繰り返し指導していく。	①進路ガイダンスを経て、生徒の進路に対する意識が高まったか。 ①生徒の上級学校や企業理解が深まったか。卒業時点での進路未定者の数が全体の5%以下とできたか。 ②様々な場面で生徒のマナー、言葉遣いが向上するなど、進路を意識した行動がとれたか。					
4	地域等との協働	①地域に開かれ、地域と共にある学校を実現する。 ②学校運営協議会(地域連携部会)の意見等を活用し、実現可能な取組についてスピード感をもって実践するとともに、地域貢献に資する活動を充実させる。	①広報PR活動を計画的・効果的に進め、中学校及び地域に発信する。 ②学校運営協議会と協働し、地域の教育力を活用した取組みを充実させる。 ③生徒たちが地域社会とのつながりについて主体的に考え、社会に貢献するための力を身につけられるようにする。	①学校公開・学校説明会・個別相談会・中学校訪問等を通じて、中学生や地域に本校を積極的にPRする。 ②学校運営協議会において、意見徴収や情報収集の機会を設ける。 ③学科併置校の利点を生かした事業を近隣小中学校に対して行う。 ③企業・教育機関との協働、生徒による地域貢献活動等の活動を行う。	①入試倍率が普通科1.2倍以上、総合ビジネス科1.1倍以上、学校説明会等の参加実績が前年度比15%以上になったか。 ②学校運営協議会の意見や提案等を実現できたか。 ③リカレント講座、企業・教育機関との協働、連携、地域との教育的交流の場を増やせたか。					
5	学校管理 学校運営	①生徒が安全安心で快適に過ごせる教育環境の整備を進める。また、時代の要請に応じた教育のICT環境の整備を推進する。 ②防災課題に対する理解を深め、防災意識を高める。 ③不祥事防止を徹底し、信頼に根ざした学校づくりを推進する。	①生徒が安全・安心、また快適に過ごせるよう教育環境の整備を促進する。 ①生徒が公共施設を大切に使用する意識を高め、美化活動に積極的に参加するよう働きかける。 ②地域自治会と共働し、防災体制の確立と整備に努める。 ③不祥事防止研修会の継続実施と報告・連絡・相談体制の拡充を図る。	①衛生委員会のアンケートを活用して重点目標を設定し、生徒や教職員の職場環境の改善を図る。 ①委員会活動を通して生徒の意見を取り入れながら安全な環境づくりを進める。 ②防災教育、避難訓練等の充実をさせ、生徒が実践的な行動を取れるように指導する。 ③研修会後のアンケート結果から問題点を明確にし、不祥事防止に対する意識と行動力の向上を図る。	①施設の改善及び教育環境の整備ができたか。 ①生徒が備品や施設を大切に使用できたか。また、校内美化活動に積極的に参加できたか。 ②実効力のある防災教育、防災訓練等ができたか。地域主催の防災訓練に参加できたか。 ③アンケート結果をフィードバックして問題点を共有し改善につなげることができたか。					